

n を 2 以上の自然数とする。1 個のさいころを続けて n 回投げる試行を行い、出た目を順に X_1, X_2, \dots, X_n とする。

- (1) X_1, X_2, \dots, X_n の最大公約数が 3 となる確率を n の式で表せ。
- (2) X_1, X_2, \dots, X_n の最大公約数が 1 となる確率を n の式で表せ。
- (3) X_1, X_2, \dots, X_n の最小公倍数が 20 となる確率を n の式で表せ。

(20 北海道大)

解説

(1) X_1, X_2, \dots, X_n の最大公約数が 3 となるのは

X_1, X_2, \dots, X_n がすべて 3, 6 であり、かつ、 X_1, X_2, \dots, X_n のうち少なくとも 1 つは 3 のときであるから、求める確率は

$$\frac{2^n - 1}{6^n}$$

(2) X_1, X_2, \dots, X_n はすべて 1 以上 6 以下の整数であるから、

これらの最大公約数は 1 以上 6 以下の整数である

最大公約数が 3 となる組 (X_1, X_2, \dots, X_n) の総数は (1) より $2^n - 1$ 通り

最大公約数が 5 となるのは、 X_1, X_2, \dots, X_n がすべて 5 のときで、

そのような組 (X_1, X_2, \dots, X_n) の総数は 1 通り

最大公約数が 2 または 4 または 6 となるのは、 X_1, X_2, \dots, X_n がすべて 2 の倍数のときで、そのような組 (X_1, X_2, \dots, X_n) の総数は 3^n 通り

よって、最大公約数が 1 となるような組 (X_1, X_2, \dots, X_n) の総数は

$$6^n - (2^n - 1 + 1 + 3^n) = 6^n - 3^n - 2^n \text{ 通り}$$

したがって、求める確率は

$$\frac{6^n - 3^n - 2^n}{6^n}$$

(3) $20 = 2^2 \times 5$ より

X_1, X_2, \dots, X_n の最小公倍数が 20 となるのは

X_1, X_2, \dots, X_n がすべて 1, 2, 4, 5 のいずれかであり、かつ

4, 5 を少なくとも 1 つずつは含めばよい

A : すべてが 1, 2, 4, 5 のいずれか

B : 4, 5 を少なくとも 1 つは含む 事象とすると

(4 を少なくとも 1 つ含み、かつ、5 を少なくとも 1 つ含む)

求める確率は $P(A \cap B)$

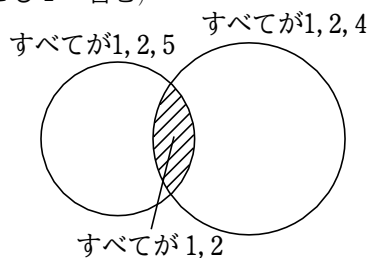
$$P(A \cap B) = P(A) - P(A \cap \overline{B})$$

ここで、 $A \cap \overline{B}$ という集合は

すべてが 1, 2, 4, 5 のいずれか、かつ

4 を含まない、または、5 を含まない

→ すべてが 1, 2, 5、または、すべてが 1, 2, 4



$$\begin{aligned}
 P(A \cap B) &= \frac{4^n - (2 \cdot 3^n - 2^n)}{6^n} \\
 &= \frac{4^n - 2 \cdot 3^n + 2^n}{6^n}
 \end{aligned}$$